

J A 研究募集案内

令和7年度JA研究表彰奨励事業

JA全中では、JAに関する研究を振興・奨励するため、昭和48年度からJAおよび協同組合に関する研究についての研究費の一部助成を行っています。

つきましては、以下の実施要領を参照のうえご応募下さい。
また、適当な方があれば応募をおすすめくださるようあわせて
お願い申し上げます。

一般社団法人 全国農業協同組合中央会

I. J A研究奨励費の助成

J A運動の発展に寄与することをねらいとして、次の課題を研究しようとする方に対して、研究費の一部助成を行うものです。

(1) 助成の対象となる研究課題

特別研究課題

① 「農業所得の増大と地域の活性化」を図るJ Aの戦略的行動について

【解題】

第30回J A全国大会では「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力～協同活動と総合事業の好循環～」を主題・副題に挙げている。

社会的な潮流や要請に対応し、農業所得の増大、安全・安心な国産農畜産物の安定供給へのさらなる挑戦とともに、地域社会における生活基盤・コミュニティの維持・持続的発展に取り組む必要があるが、こうした戦略的な取り組みについて、提言いただきたい。

② 現代社会における農業協同組合（J A）の存在意義と役割について

【解題】

国連が令和7年を二度目の国際協同組合年(IYC2025)に定め、持続可能な開発における協同組合の貢献を評価するなど、協同組合に対する社会からの期待は高まっている。一方、世界的な物価高騰による生産資材価格の高止まりが続く中、過疎化・高齢化が進み、営農が継続できるか危機的な状況にある。

改めて、国民に対し「農業協同組合(J A)の存在意義」の理解を求めていくことが重要である。こうした中で、J Aグループが提供する価値（「食料・農業への貢献」、「組合員の暮らし・地域社会への貢献」）について、提言いただきたい。

一般研究課題

- ① 農業協同組合または協同組合に関するもの
- ② 協同組合教育の振興に関するもの
- ③ J A全国大会に関するもの

(2) 応募方法

この研究奨励費の助成を希望する方は、申込書を作成し、令和7年6月20日（金）【必着】までに（一社）日本協同組合連携機構へ申し込んで下さい。

(3) 応募資格

特別研究課題

- ✓ 将来とも日本において J A に関する研究を続ける見込みがある方であれば資格は問いません。
- ✓ 共同研究での応募においては、農業協同組合職員または農業協同組合関係研究機関職員を 1 名以上加えることを推奨します。
- ✓ 「一般研究」との重複応募はできません。

一般研究課題

- ✓ 令和 7 年 5 月末現在 45 歳未満の方で、将来とも日本において J A に関する研究を続ける見込みのある方
- ✓ 大学の教授およびこれと同等の職位にある方は対象になりません。
- ✓ J A 職員の方は年齢は問いません。
- ✓ 令和 2 年度以降助成を受けた方は対象になりません。
- ✓ 「特別研究」との重複応募はできません

(4) 選考方法

助成を希望する方からの申し込みにもとづいて、選考委員会及び奨学委員会の審議を経て選定します。

(5) 奨励の方法

選考の結果、適当と認めたものについては

- ✓ **特別研究では 1 件につき 100 万円以内**
- ✓ **一般研究では 1 件につき 50 万円以内**

を限度に本会の決定した基準にもとづいて研究奨励費を助成します。

(6) 選考結果の通知

選考の結果は、一般社団法人 日本協同組合連携機構から応募者へ個別に通知いたします。(令和 7 年 10 月上旬予定)

(7) 研究進捗の確認および成果の報告

- ① 研究進捗の確認(主として応募申込の研究計画と研究成果の差異の確認)のため、成果原稿の要旨または目次(任意様式)を令和 8 年 5 月 29 日(金)までに提出いただきます。
- ② その後、報告会を令和 8 年 12 月 14 日(月)に開催し、奨励対象者全員から、研究概要を発表いただきます。

- ③ 併せて、研究成果については、令和8年12月24日（金）までに、令和9年『協同組合奨励研究報告』に掲載する原稿として400字詰め原稿用紙で以下の枚数（図表含む）を目安にMicrosoftWordにより提出いただきます。

特別研究	120枚
一般研究	60枚

(8) 研究成果の公表

- ① 報告いただいた令和7年度の奨励研究の成果については、令和9年10月頃に発行予定の『協同組合奨励研究報告』に掲載、公表することになります。
- また、『協同組合奨励研究報告』に掲載、公表後、他に発表する場合においても事前に本会と協議した後に行うこととし、本会から「研究奨励費」の助成を受けたことを付記しなければなりません。
- ② 研究成果については、日本農業新聞に要旨を公表いただきます。
（掲載日程、方法については個別に調整いたします。）
- ③ 上記①の論文については、J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）等において公開する予定です。

(9) 研究報告の著作権

(8)①の『協同組合奨励研究報告』に掲載された論文等の著作権は、（一社）全国農業協同組合中央会に属することとします。なお、著作者の許諾なく外部への転載、書店（電子書店含む）で販売を行うことがあります。

(10) 問合せ先

この事業についてお問い合わせは、次のいずれかにご連絡下さい。

- ✓ （一社）全国農業協同組合中央会 教育部 教育企画課

〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1 J Aビル36階

TEL：03-6665-6260

- ✓ （一社）日本協同組合連携機構 CI・国際・研究チーム

〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階

TEL:03-6280-7254（代表）

- ※ 応募された方の個人情報については、（一社）全国農業協同組合中央会「個人情報保護方針」にもとづき厳正に保持・管理いたします。

令和7年度JA研究表彰奨励奨学委員会委員名簿

所 属	役 職	氏 名
全国農業協同組合連合会	総務人事部長	小 池 克 佳
全国共済農業協同組合連合会	常務理事	宮 基 俊 彦
農林中央金庫	系統人材開発部長	山 道 学
全国厚生農業協同組合連合会	管理部長	滝 沢 洋 二
(一社) 家の光協会	総務本部長	真 鍋 勝 裕
(株) 日本農業新聞	執行役員 食農イノベーション局長	山 本 史 郎
(株) 農協観光	常務取締役	佐 藤 宏 治
(一社) 全国農業協同組合中央会	常務理事	若 松 仁 嗣

令和7年度JA研究表彰奨励選考委員会委員名簿

所 属	役 職	氏 名
東京農業大学	名誉教授	白 石 正 彦
(一社)長野県農協地域開発機構	研究所長	小 松 泰 信
新潟大学	名誉教授	青 柳 齊
北海道大学大学院農学研究院	教授	板 橋 衛
全国農業協同組合連合会	経営企画部次長	海老澤 秀 和
(一社)JA共済総研	常務理事	中 島 大 介
(株)農林中金総合研究所	理事研究員	小野澤 康 晴
(一社)全国農業協同組合中央会	教育部長	田 村 政 司

令和7年度JA研究奨励事業応募申込書作成にあたっての留意事項

1. 申込書は、令和7年6月20日（金）までに下記あて提出して下さい。

申込書はMicrosoftWordにより作成して下さい。

（一社）日本協同組合連携機構 CI・国際・研究チーム

〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階

TEL：03-6280-7254 E-mail kyodo@japan.coop

2. 研究奨励費助成対象者は、選考のうえ決定し、応募者に連絡いたします。（令和7年10月上旬予定）

3. 研究奨励費を受けた方は以下の発表、提出が必要となります。

① 研究進捗の確認（主として応募申込の研究計画と研究成果の差異の確認）のため、成果原稿の要旨または目次（任意様式）を令和8年5月29日（金）までに提出いただきます。

② その後、報告会を令和8年12月14日（月）に開催し、奨励対象者全員から、研究概要を発表いただきます。

③ 併せて、研究成果については、令和8年12月24日（木）までに、令和9年『協同組合奨励研究報告』に掲載する原稿として400字詰め原稿用紙で以下の枚数（図表含む）を目安にMicrosoftWordにより提出いただきます。

特別研究	120枚
一般研究	60枚

4. 研究成果は「協同組合奨励研究報告」に掲載・公表するまでは原則的に他の研究誌や学会等には発表できません。また、「協同組合奨励研究報告」に掲載された論文等は全国農業協同組合連合会に著作権が属します。

5. 申込書式は、「JA全中人づくり」ホームページ内のトピックス「令和7年度JA研究募集案内」からダウンロードできます。

https://www.hitodukuri-zenchu.jp/topics/2012/120626_01.html

6. ① 申込書の各項目については、具体的に詳しく書いて下さい。なお、原則として別紙は認めていませんので、このスペース内に収まるようお書き下さい。

② 共同研究者については、別紙に記入し、2名以上の場合はコピーして記入して下さい。

③ 特別研究と一般研究では申込書式が異なるのでご留意下さい。

諸 申 込 書 式

(別紙様式 1 - 1)

令和7年度JA研究奨励事業応募申込書（特別研究用）

整理No.		
１．申請者 〈共同研究の場合は責任者を記入して下さい。 共同研究者は（別紙様式１－３）に記入して下さい。〉	フリガナ（ ）	住 所 〒
	氏 名 _____	TEL — — E-mail @
	生年月日 年 月 日	
	略 歴	所 属 職 名 勤務先 〒 所在地 TEL — — E-mail @
２．研究しようとする課題名		
３．研究の目的とその特色 〈800字以内で記載〉		

(別紙様式 1 - 2)

令和 7 年度 J A 研究奨励事業応募申込書（一般研究用）

整理No.		
1. 申請者	フリガナ ()	住 所 〒
	氏 名 _____	TEL — —
	生年月日 年 月 日	E-mail @
	略 歴	所 属
	職 名	
	勤務先 〒	
	所在地	
	TEL — —	
	E-mail @	
2. 研究しようとする 課 題 名		
3. 研究の目的と そ の 特 色		
〈800字以内で記載〉		

令和7年度JA研究奨励事業応募申込書

〔共同研究者用〕

整理No.			
申請者氏名 () 〈共同研究者が2人以上いる場合は コピーし、同様に記入して下さい。〉	フリガナ ()	住所 〒	
	氏名	TEL E-mail @	
	生年月日	所属	
	年 月 日	職 名	
	略 歴	勤務先 〒	
		所在地	
		TEL E-mail @	

令和6年度J A研究奨励費助成対象研究

J A研究表彰奨励事業としてJ A研究賞1件に対し副賞（500,000円）を贈呈するとともに特別研究1件、一般研究4件に対し研究費助成（2,980,000円）を行いました。

(1) 令和6年度「J A研究賞」

書 名	合併からネットワークへ ―「農協改革」の課題―
著 者	両角 和夫
発 行	農林統計出版
副 賞	500,000円

(2) 令和6年度 助成対象研究

特 別 研 究

氏 名	中村 勝則
所 属	秋田県立大学 生物資源科学部
職 名	准教授
テ ー マ	J Aが若年女性にとって魅力的な就業先であるための条件に関する研究
助成金額	980,000円

一 般 研 究

No. 1

氏 名	市村 敏伸
所 属	北海道大学大学院農学院
職 名	博士後期課程
テ ー マ	2015年農協法改正にともなう農協中央会組織の変容に関する研究
助成金額	500,000円

No. 2

氏 名	犬田 剛
所 属	東京農業大学 国際食料情報学部
職 名	助教
テ ー マ	農業経営の持続的発展に向けた農協系統金融の役割と課題に関する研究 ―日本政策金融公庫との効果的連携を視野に―
助成金額	500,000円

No. 3

氏 名	尾山 郁人
所 属	神戸大学大学院農学研究科 食料共生システム学科
職 名	博士前期課程
テ ー マ	J Aが核となる農泊地域の形成と組織移行プロセスに関する研究
助成金額	500,000円

No. 4

氏 名	福田 美紗樹
所 属	九州大学大学院 生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻（食料農業政策学研究室）
職 名	修士課程
テ ー マ	酪農・乳業の構造変化に対する酪農協同組合システムの再編方向に関する研究 ―ニュージーランド・フォンテラの事例から何を引き出せるかを中心に―
助成金額	500,000円

Ⅱ． J A研究成果の表彰

本会では、J Aに関する研究の成果についても次のような要領で表彰事業を行っています。

〔表彰の対象〕

令和5年1月以降令和6年12月末までの期間に、刊行あるいは発表された個人（複数の場合を含む）のJ AとJ Aに関連する協同組合運動についての著書、研究論文等。

〔表彰の方法〕

すぐれたものを選考委員会及び奨学委員会の審議を経て選定し、「J A研究賞」と副賞（1件につき50万円）を贈呈します。

〔研究論文等の送達〕

大学・研究所あるいは個人等で発表されたすぐれた研究成果（著書、論文、学術紀要等）がありましたら、（一社）全国農業協同組合中央会 教育部までご送達下さい。